

確かな学力向上推進プラン

平成31年2月28日現在
江戸川区立第三松江小学校

学力向上に向けた目標値																		
成果指標：都学力調査における到達目標値（教科書の練習レベルの問題）を超える割合																		
教科	平成 30 年度 結果		平成 31 年度 目標値		平成 31 年度 結果		平成 32 年度 目標値		平成 32 年度 結果		平成 33 年度 目標値		平成 33 年度 結果		平成 34 年度 目標値		平成 34 年度 結果	
国語	20問	59.6%	20問	62%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
社会	22問	70.9%	22問	72%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
算数	31問	52.1%	31問	54%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
理科	20問	70.7%	20問	72%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%

学力向上に向けた取組							
論点	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	・朝学習、家庭学習で読み書き計算に日々取り組む。 ・漢字のミニテストの定期実施（隔週1）。 ・週1回の放課後補習と夏休みの集中補習を実施。	・朝学習、家庭学習で読み書き計算に日々取り組む。 ・漢字のミニテストの定期実施（週1）。 ・週1回の放課後補習と夏休みの集中補習を実施。	・朝学習、家庭学習で基礎基本の東京ベーシックドリル等を活用。 ・漢字、計算のミニテストの定期実施（週1～2）。 ・週1回の放課後補習と夏休みの集中補習を実施。	・朝学習、家庭学習で基礎基本の東京ベーシックドリル等を活用。 ・漢字、計算のミニテストの定期実施（週1～2）。 ・週1回の放課後補習と夏休みの集中補習を実施。	・朝学習、家庭学習で基礎基本の東京ベーシックドリル等を活用。 ・漢字、計算のミニテストの定期実施（週1～2）。 ・週1回の放課後補習と夏休みの集中補習を実施。	・朝学習、家庭学習で基礎基本の東京ベーシックドリル等を活用。 ・漢字、計算のミニテストの定期実施（週1～2）。 ・週1回の放課後補習と夏休みの集中補習を実施。	
論点2 学習規律の徹底	・話の聞き方の徹底。 ・発表の仕方「はい、たつ、です、ますカード」の徹底。 ・ノートの取り方の統一。	・話の聞き方の徹底。 ・発表の仕方「はい、たつ、です、ますカード」の徹底。 ・ノートの取り方の統一。	・「三松の学習のきまり」を掲示し、定期的に振り返り、徹底させる。 ・「腰骨を立てる」掲示。	・「三松の学習のきまり」を掲示し、定期的に振り返り、徹底させる。 ・「腰骨を立てる」掲示。	・「三松の学習のきまり」を掲示し、毎月振り返り、徹底させる。 ・「腰骨を立てる」掲示。	・「三松の学習のきまり」を掲示し、毎月振り返り、徹底させる。 ・「腰骨を立てる」掲示。	・学校の規則を守っていますか。（全国学力調査） 肯定的な回答 91%以上
論点3 生活習慣の確立	・「三松の生活のきまり」の徹底。 ・早寝、早起き、朝ごはんの励行、啓発。	・「三松の生活のきまり」の徹底。 ・早寝、早起き、朝ごはんの励行、啓発。	・「三松の生活のきまり」の徹底。 ・学期始めの「健康貯金カード」の活用。	・「三松の生活のきまり」の徹底。 ・学期始めの「健康貯金カード」の活用。	・「三松の生活のきまり」の徹底。 ・学期始めの「健康貯金カード」の活用。	・「三松の生活のきまり」の徹底。 ・学期始めの「健康貯金カード」の活用。	・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。（全国学力調査） 肯定的な回答91%以上
論点4 家庭学習の指導の充実	・宿題を毎日出す。 ・家庭学習CPに毎学期取り組む。学年×10分＋10分。 ・保護者会で意義を説明。	・宿題を毎日出す。 ・家庭学習CPに毎学期取り組む。学年×10分＋10分。 ・保護者会で意義を説明。	・宿題を毎日出す。 ・家庭学習CPに毎学期取り組む。学年×10分＋10分。 ・自主学習（1日1P）の段階的取り組み	・宿題を毎日出す。 ・家庭学習CPに毎学期取り組む。学年×10分＋10分。 ・自主学習（1日1P）の段階的取り組み	・宿題を毎日出す。 ・家庭学習CPに毎学期取り組む。学年×10分＋10分。 ・自主学習（1日1P）の段階的取り組み	・宿題を毎日出す。 ・家庭学習CPに毎学期取り組む。学年×10分＋10分。 ・自主学習（1日1P）の段階的取り組み	・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（全国学力調査） 30分未満の割合12%以下
論点5 言語に関する指導の充実	・行事ごとの作文指導。 ・様々な詩や文章の音読、暗唱の活動を設定。	・行事ごとの作文指導。 ・様々な詩や文章の音読、暗唱の活動を設定。	・ふりかえり場面での作文指導。 ・ペアや小グループでの話し合い活動を設定。	・ふりかえり場面での作文指導。 ・ペアや小グループでの話し合い活動を設定。	・作文、感想文、意見文等様々な形態の文章を書かせる課題を設定。 ・ペアやグループ、学級全体での話し合い活動を定期的に設定。	・作文、感想文、意見文等様々な形態の文章を書かせる課題を設定。 ・ペアやグループ、学級全体での話し合い活動を定期的に設定。	・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。（全国学力調査） 肯定的な回答85%
論点6 教員の学習指導力向上	・学年会での教材研究 ・校内研究授業の実施 ・若手教員校内研修の実施（OJT） ・区小研の研究会等への参加	・学年会での教材研究 ・校内研究授業の実施 ・若手教員校内研修の実施（OJT） ・区小研の研究会等への参加	・学年会での教材研究 ・校内研究授業の実施 ・若手教員校内研修の実施（OJT） ・区小研の研究会等への参加	・学年会での教材研究 ・校内研究授業の実施 ・若手教員校内研修の実施（OJT） ・区小研の研究会等への参加	・学年会での教材研究 ・校内研究授業の実施 ・若手教員校内研修の実施（OJT） ・区小研の研究会等への参加	・学年会での教材研究 ・校内研究授業の実施 ・若手教員校内研修の実施（OJT） ・区小研の研究会等への参加	・国語の授業の内容はどのくらい分かりますか。（都学力調査） 肯定的な回答91%

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点					
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	・ひらがな、カタカナ、学年で習う漢字をしっかりと読み書きできるようにする。	・ひらがな、カタカナ、既習の漢字を使って、自分の思いや考えを表現できるようにする。	・読むことの楽しさを知り、様々な文章を読み取る中で語彙を増やす。	・作文、感想文、意見文等様々な形態の文章を書かせる。	・話し合いを通して、様々な考えに触れ、深めていく活動を積極的に取り入れる。	・文章読解力向上をめざし、様々な文章を読む機会を設ける。
社会			・調査活動や各種の具体的な資料を通して、必要な情報を調べ、まとめる技能を養う。	・地図に親しみ、グラフ等の資料を読み取る力を育成する。	・日本の工業、産業について体験や実物に触れながら、自分のこととして考えられるよう教材を工夫する。	・我が国の歴史や伝統に誇りを持ち、国を愛する心情を養うことができるよう教材を工夫する。
算数	・具体物を通して、数量や図形の感覚を豊かにできるよう様々な教材を用意する。1位数同士の加減法が確実にできるようにするために、反復練習を図る。	・かけ算九九を確実に覚えさせる。加法の繰り上がり、減法の繰り下がりが確実にできるようにするために、ドリル等を使って反復練習を図る。	・2位数や3位数に、1位数や2位数をかける乗法の計算が、筆算で確実にできるようにするために、東京ベーシックドリルを活用して定着を図る。	・除法の筆算のやり方を理解し、除数が2位数の計算を確実にできるようにするために、東京ベーシックドリルを活用し、単元毎の定着を確実に図る。	・都学力調査の結果をもとに、課題を把握し、東京ベーシックドリル等を活用して、弱点克服の機会を設ける。	・全国学力調査の結果をもとに、課題を把握し、東京ベーシックドリル等を活用して、弱点克服の機会を設ける。
理科			・自然に親しみ、生活体験を生かして、見通しをもって観察、実験を行う場面を設定する。	・実験や観察において、理科的な見方、考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行う場面を設ける。	・実験の条件を制御しながら、自ら実験計画を立てたり、結果を考察したりする力を高める。	・実験の条件を制御しながら、自ら実験計画を立てたり、結果を考察したりする力を高める。
生活	・身近な自然を観察したり、季節の行事を体験したりすることを通して、季節によって自然や生活の様子が変わること気付かせる。	・動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの成長や変化の様子に関心をもって働きかけることができるようにする。				
音楽	・歌唱は器楽では、技能を身に付け、音楽活動を楽しむ。	・歌唱や器楽では、技能を身に付け、音楽活動を楽しむ。	・すすんで音楽に関わり、思いや意図をもち、音楽経験を生かす。	・すすんで音楽に関わり、思いや意図をもち、音楽経験を生かす。	・曲想と音楽の構造を理解し、技能を身に付け、音楽経験に生かす。	・曲想と音楽の構造を理解し、技能を身に付け、音楽経験に生かす。
図画工作	・すすんで表したり見たりする態度を育てるために、身近な材料や使いやすい用具に親しみ、正しい使い方が習得できるように指導する。	・見たことや感じたことから表したいことを見つけられるように、材料や用具に十分に慣れさせながら、表現が広がるように課題を設定する。	・材料や用具から豊かに発想を広げるために、木や砂、プラスチックなど新しい材料に触れる機会を増やし、それらを扱うのに適した用具の習得を行う。	・友達や周りの環境から発想を広げられるように、造形遊びや話し合い等を適切に行い。さらに豊かな発想を促す。	・材料や場所の特徴を基に創造、発想するために、電動糸鋸や針金など、小学校で扱うべき用具材利用をすべて経験させて、次の学年でそれらを自分で選択できることを目指す。	・前学年までの用具の経験や技能を総合的に生かすために、材料を複合させた作品や、児童が自分で考える機会を十分に確保できる題材を設定する。
家庭					・手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方や安全な取り扱いについて理解し、適切にできる力を養う。	・体に必要な栄養素の種類と主な働きが分かり、1食分の献立について栄養バランスを考えて作成する方法を理解させる。
体育	・各種の運動遊びの楽しさに触れ、基本的な動きを身に付けることができるように図る。	・各種の運動遊びにすすんで取り組み、きまりを守り、友達と仲良く運動したり、安全に留意したりする態度を育成する。	・各種の運動の楽しさや喜びに触れ、基本的な動きや技能を身に付けることができるように図る。	・各種の運動の基本的な動きや技能を身に付けるとともに、考えたことを他者に伝える時間を設ける。	・児童自らが練習計画を立てたり、練習方法やルールを工夫したりするなど自ら考えて運動しようとする意識を高める。	・基礎体力、筋力の向上を図る運動に通年で取り組む。陸上運動の技能を向上させる。